資料-3 平成22年3月3日 環境監視委員会

# 東京国際空港再拡張事業に係る 環境監視計画

存在 · 供用時(素案)

平成 22 年 3 月

国土交通省関東地方整備局 国土交通省東京航空局

## 表 3-1(2) 環境監視調査の概要

環境監視項目	調査項目	調査地点	調査頻度	備考
流況	流向・流速	4 地点:羽田周辺海域	30 昼夜連続観測、 年 2 回(夏季、冬季に実施 する)	
水質	水温、塩分、透明度、pH、濁度、DO、クロロフィルa <現地調査(機器観測)>	【調査層】	①存在・供用時定点連続観 測 ②年4回 (四季を基本とする)	
	水色、赤潮・青潮状況、底曳 網操業状況、大型船舶航行状 況、気象・海象、油膜等 <現地調査(目視観察)>	水質調査点 (8 地点) の周辺海 域	年4回 (四季を基本とする)	
	塩分、SS、VSS、pH、DO、COD、n-ヘキサン抽出物質、栄養塩類(T-N、T-P)、クロロフィルa <室内分析(採水)>	【調査層】	年4回 (四季を基本とする)	
	健康項目(23項目) <室内分析(採水)>	羽田周辺海域 2 点 【調査層】 ・表層 (海面下 0.5m) ・中層 (海面下 5m) ・底層 (海底上 1m)	年1回 (夏季に実施する)	

## 表 3-1(3) 環境監視調査の概要

環境監視項目	調査項目	調査地点	調査頻度	備考
底質	泥の外観、泥色、泥温、臭気、 外観、混入物の有無 <現地調査(目視観察)>	・羽田周辺海域8点 ・表層泥	年4回 (四季に実施する)	
	粒度組成、COD、強熱減量、全硫化物、T-N、T-P <室内分析(採泥)>			
海岸地形	水深	羽田周辺海域 8 点(底質調査時に実施)	年4回 (四季に実施する)	

## 表 3-1(4) 環境監視調査の概要

環	境監視項目	調査項目	調査地点	調査頻度	備考
動物	水生動物 ・動物プランク トン	種別個体数、湿重量	・羽田周辺海域 4 点 【調査層】 ・表層:海面下 0~3m ・中層:海面下 3~6m ・底層:海面下 6m~海底上 1m (水深が浅い地点は適宜設定 する)	年4回 (四季を基本とする)	
	水生動物 ·底生生物	種別個体数、湿重量	・羽田周辺海域8地点	年4回 (四季を基本とする)	
	水生動物 ・魚卵、稚仔魚	種別個体数	・羽田周辺海域 4 点 【調査層】 ・表層:海面下 0~3m ・中層:海面下 3~6m	年8回 (遡上期:3~6月の毎月、 降海期:11~2月の毎月)	
	水生動物 ・魚介類	種別個体数	・羽田周辺海域 底曳網:2点、刺網:2点、 投網:2点	年4回 (四季を基本とする)	
	水生動物 ・付着動物	種別個体数、湿重量	・羽田周辺海域周辺 1 点 ・暗環境調査	年4回 (四季を基本とする)	
	陸生動物 ・鳥類	生息種、個体数、行動特性、 移動状況等	・定点観察 4 点	年4回 (四季を基本とする) (春、秋の渡り、繁殖、越冬 の時期を考慮)	

## 表 3-1(5) 環境監視調査の概要

環	境監視項目	調査項目	調査地点	調査頻度	備考
植物	水生植物 ・植物プランク トン	種別個体数、湿重量	<ul> <li>羽田周辺海域 4 点 【調査層】</li> <li>表層:海面下 0.5m</li> <li>中層:海面下 5m</li> <li>底層:海底上 1m</li> </ul>	年4回 (四季を基本とする)	
	水生植物 ・付着植物	種別個体数、湿重量	・羽田周辺海域1点 ・暗環境調査	年4回(四季を基本とする)	
	陸生植物 ・塩沼植物群落	種の確認	多摩川河口域周辺(河口干潟 中心)	年3回 (冬季を除く3季を 基本とする)	
生態系	多摩川河口干 潟生態系調査 (底質、地形、 水生動物、陸生 動物、水生植 物、陸生植物 等)	種別個体数、細胞数、湿重量、 横断測量、 育種の確認	多摩川河口域周辺(河口干潟 中心)	四季を基本として生物の生 息状況等を考慮して実施	

























